

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回大穂学園コミュニティ・スクール推進会議				
開催日時		令和7年（2025年）6月6日 開会 15:00 閉会 17:00				
開催場所		つくば市立大穂中学校 被覆室				
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課				
出席者	委員	古谷野 好栄、諏訪 優子、中島 肇、根本 清己 大塚 一浩、渡邊 伸一、小林 正信、村上 義孝、菊田 康人 塚本 正人、中島 武夫、小野 泰宏、大塚 貴文、藏持 正則 飯塚 栄、吉沼 正美、柴原 徹、川村 葉月 大穂中学校：久松 和則 校長 大曾根小学校：大西 秀重 校長 前野小学校：国府田 誠一 校長 要小学校：石原 亜矢子 校長 吉沼小学校：石塚 まゆみ 校長				
	その他	大穂中学校：井上 宏実 教頭、要小学校：河村 亘 教頭 大曾根小学校：奥水 浩美 教頭 前野小学校：坂入 洋子 教頭、吉沼小学校：坂本 修 教頭 つくば市立大穂幼稚園 園長 森 典子				
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事 山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 青葉 正之				
公開・非公開の別		☒ 公開	☐ 非公開	☐ 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由						
議題		1 学校運営の基本方針 2 地域と学校の連携事業 予算計画書 3 熟議「令和7年度の各校コミュニティ・スクールの理想の活動計画の作成」				
会議録署				確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開 会 2 任命書の交付及び委嘱状の交付 3 委員自己紹介 4 行政説明「つくば市のコミュニティ・スクールについて」 5 会長・副会長の選出 6 協議（1）学校運営の基本方針 （2）地域と学校の連携事業 予算計画 （3）熟議「令和7年度の各校コミュニティ・スクールの理想の活動計画の作成」 7 その他 8 閉会					

<審議内容>

1 開会

2 任命書の交付及び委嘱状の交付

3 委員自己紹介

4 行政説明「つくば市のコミュニティ・スクールについて」

5 会長・副会長について

会長：大曾根小学校元PTA会長 古谷野 好栄 委員

副会長：前野小学校元学校評議員 大塚 貴文 委員

なお、各学校の教頭及びつくば市立大穂幼稚園 園長先生（会長が参加を認めるものとして）参加

6 協議（１）学校運営の基本方針について

ア 学園グランドデザイン説明（学園長）

イ 各学校のグランドデザイン説明

ウ 質問

・質問等特になし

エ 承認

・各校長の説明を受け、基本方針が参加者一同承認される。本方針で学校運営をしていく。

協議（２）地域と学校の連携事業 予算計画

・市へ問い合わせた内容を情報共有

熟議に入る前に、市から出された資料にある規則 p15 について要確認

（３）熟議「令和７年度各校コミュニティ・スクールの理想の活動計画の作成」

（前野小学校）

○今年度の計画について

・ 7 月：着衣水泳、9 月：防災キャンプ（講師招聘）、
12 月：つくスタ授業参観、その他に P T A 主催のレク

（大曾根小学校）

○学校と地域が一つになる（地域が土、揺るがないボランティア活動を）

・ 学習サポート：無造作に入ることがないように、研修会を実施し、
学校ボランティアを登録制にした。

（大穂中学校）

○コミュニティ・スクールとは何か改めて考えた。

・ 防災教育の実施、学習ボランティア（今年度実施したいこと）
・ 交通安全指導、健康診断のボランティア、花壇作業（これまで実施したこと）

（要小学校）

○地域の方々をどのように協力していただけるか話し合った。

・ 朝の交通安全指導、あいさつ運動、学習ボランティア

（吉沼小学校）

○地域の方々への声掛けについて話し合い、組織を作っていきたい。

- ・吉沼マルシェ、吉沼祇園祭の継続的な実施

7 その他

ア 副会長より

イ 今後について

- ・第2回 2月19日（木） 15時から

場所：大穂交流センター

8 閉会

令和7年度第1回大穂学園コミュニティ・スクール協議会

日時:令和7年6月6日(金)

15:00~17:00

場所:大穂中学校 被服室

次 第

1 開 会

2 任命書の交付及び委嘱状の交付

3 委員自己紹介

4 行政説明「つくば市のコミュニティ・スクールについて」

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針

(2) 地域と学校の連携事業 予算計画

(3) 熟議「令和7年度の各校コミュニティ・スクールの理想の活動計画の作成」

7 その他

8 閉 会

令和7年度 大穂学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回: 6月6日 金曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	井内 博行	元学校評議員
2	(1) 地域住民	染谷 強	元学校評議員
3	(1) 地域住民	根本 清己	大曽根下区長大曽根地区長会長
4	(3) 地域学校協働活動推進員	古谷野 好栄	元PTA会長 元学校評議員
5	(3) 地域学校協働活動推進員	諏訪 優子	元学校評議員
6	(1) 地域住民	飯塚 栄	篠崎区長元PTA会長
7	(1) 地域住民	大塚 一浩	岩崎区長元学校評議員
8	(2) 児童・生徒の保護者	清水 大	PTA会長前PTA顧問
9	(3) 地域学校協働活動推進員	中島 肇	前野区長元学校評議員
10	(3) 地域学校協働活動推進員	大塚 貴文	PTA顧問前PTA会長
11	(1) 地域住民	小林 正信	要地区長
12	(1) 地域住民	小林 由二	民生委員
13	(3) 地域学校協働活動推進員	菊田 康人	元要小保護者
14	(3) 地域学校協働活動推進員	渡邊 伸一	元要小PTA会長
15	(4) 学識経験者	村上 義孝	つくば市倫理法人会(相談役)、つくばエデュース
16	(2) 児童・生徒の保護者	杉田 健	元子ども会育成連合会会長
17	(2) 児童・生徒の保護者	ラクマン来良	PTA共同代表
18	(3) 地域学校協働活動推進員	塚本 正人	元教員主任児童委員
19	(3) 地域学校協働活動推進員	柴原 徹	市中央図書館館長新地下区長
20	(1) 地域住民	吉沼 正美	元教育局長
21	(1) 地域住民	軍司 絹子	元PTA会長
22	(1) 地域住民	小野 泰宏	元PTA会長元学校評議員
23	(3) 地域学校協働活動推進員	川村 葉月	大穂中応援団(PTA等代表)
24	(3) 地域学校協働活動推進員	中島 武夫	元PTA会長元学校評議員
25	(4) 学識経験者	藏持 正則	元大穂中学校長
26	(5) 各学校長	大西 秀重	大曽根小学校長
27	(5) 各学校長	国府田 誠一	前野小学校長
28	(5) 各学校長	石原 亜矢子	要小学校長
29	(5) 各学校長	石塚 まゆみ	吉沼小学校長
30	(5) 各学校長	久松 和則	大穂中学校長

大穂学園つくば市立大穂中学校 グランドデザイン 2025

つくば市の教育目標

みんなが幸せを実感できる学園・学校
「自己実現ができる学校」
「みんなで支え合い」
「みんなが生き生きした学校」
＜今年度の重点目標＞
教えから学びへ
管理から自己決定へ
非認知能力の再認識へ
自己選択・自己調整・自己決定

大穂学園の教育目標

進んで関わり合い 粘り強く努力する児童・生徒の育成

- ☐ 自分の考えをもち、進んで学ぶ子
- ☐ 礼儀正しく、思いやりのある子
- ☐ 心身共に健康で、粘り強い子

大穂中の教育目標

共に高め合い、粘り強く努力する生徒の育成
～ 夢への挑戦「大穂プライド」～

茨城県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる
すべての子どもの可能性を
引き出す活力ある学校づくり

生徒自ら問いを見出し、試行錯誤しながら解決していく探究的な学び

＜未来をひらく力を育む教育＞

目指す生徒：自ら疑問をもち、
自分で考え、探究する生徒

◇授業改善の視点◇

- ・課題提示や難易度の工夫
- ・発問や展開の工夫
- ・対話や言語活動の重視
- ・課題解決型の探究的な学習
- ・各教科の特質に応じた見方・考え方
- 教科横断的な学びの確立
- ICTを活用した協働的な学びの展開
- ・考える時間や振り返りの工夫
- ・体験や既習事項の活用
- ・授業ノートの活用



＜豊かな心を育む教育＞

目指す生徒：相手意識を持ち、
自己決定できる生徒

◇豊かな人間性を育む視点◇

- ・体力づくりや運動量の確保
- ・部活動改革の推進
- ・昼休みの外遊びの推奨
- ・持久力の向上
- ・社会性を育む交流活動や共同学習の充実
- ・アサーティブトレーニングの充実
- 感動する体験活動や特別活動の実施
- コミュニケーション能力の育成
- ・道徳的実践意欲
- ・芸術文化活動の充実
- ・自然体験活動の充実



＜互いを認め合いだれもが輝く教育＞

目指す生徒：失敗を恐れず、
何事にも挑戦できる生徒

◇自己肯定感を高める視点◇

- ・生徒会活動の充実やルールメイキング
- ・非認知能力を伸ばす環境づくり
- ・学級経営の充実
- ・規範意識の高揚
- ・批判的思考の育成
- ・発信型 PBL 学習の実施
- 自己管理能力の育成
- 特別支援教育の充実
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実（インクルーシブ教育の推進）
- ・生命（いのち）の安全教育の推進



【教員のスキルアップとパフォーマンス向上のための働き方改革の推進】

目指す教師像：学びのイノベーションを推進し、質の高い教育の展開を目指す教師

◇指導力・人間力の視点◇

- ・授業力・生徒理解・生徒指導力
- ・デジタル教科書、ICT、ギガ端末の活用
- ・校内研修の充実（ケース会議・不登校対策の充実）
- ・働き方を意識した教科経営の実施（教科部会や授業実践）
- ・コンプライアンスの意識が高く、服務規律を遵守



学校教育

家庭教育

社会教育

地域学校協働活動

コミュニティ・スクールの推進

目指す地域像：地域・保護者と一体となって子供を育む学校

- ・地域の人材・物的資源の活用
- ・社会教育との連携
- ・生徒による地域貢献
- ・つくばスタイル科における発信型プロジェクト学習
- ・学校運営協議会との連携（推進委員会）
- ・青少年を育てる会との交流
- ・地域防犯、防災体制の構築
- ・学習支援ボランティア・出前授業等の教育プログラム
- ・学習、体験活動の充実
- ・部活動支援
- ・キャリア教育の充実





大穂学園つくば市立大曽根小学校 令和7年度 グランドデザイン

学園目標 ～進んで関わり合い 粘り強く努力する児童・生徒の育成～

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

茨城県学校教育指導方針

- すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
- ◇ カリキュラムマネジメントの確立
- ◇ 豊かな学びの展開
- ◇ 安心して学べる環境の保障

学校教育目標

自ら学び 心豊かで ねばり強い児童の育成

目指す児童像

- 自ら学ぶ子
 - ・自律的に学習に取り組む子
 - ・自分の考えを伝えられる子
 - ・様々な人たちと学び合える子
- 心豊かな子
 - ・だれにでもやさしくできる子
 - ・多様性を認められる子
 - ・元気にあいさつする子
- 健康でたくましい子
 - ・規則正しく生活できる子
 - ・進んで運動できる子
 - ・最後まであきらめずがんばれる子

教員の資質能力の向上

目指す教師像

- 人間性豊かで、高い使命感をもつ教師
- 一人一人と寄り添った関係を築く教師
- 効果的な学びをデザインし、学びを引き出す教師
- 実践的専門性を高めるために学び続ける教師
- チームとして協働し、学校教育目標の具現化に努める教師



目指す学校像

- 一人ひとりが幸せな人生を送れる学校
- 児童も教職員も安心して楽しい学校
- 児童も教職員も学び続ける学校
- 家庭・地域と対話・連携・協働する学校
- 児童に向き合うための働き方改革が進む学校

たのしい大曽根小学校

お おもいきり学ぶ子 お おもいやりのある子 そ そくぞくワクワク感動する子 ね ねばりづよく取り組む子

組織目標

- 一人ひとりが安心して生き生きと活躍できる活動の推進
- 対話を通じた探究的な学びを実現するための授業づくり

研修テーマ

対話を通して
互いの考えを認め合い
学び合う児童の育成
～単元における目指す児童像を
実現するための授業づくり～

学校評価

- ・子どもの願い
- ・保護者の願い
- ・地域の願い

互いに学び合う集団づくり

探究的・協働的な授業づくり

- ・単元を意識した課題設定
- ・自分事の問いを生み出す学習活動
- ・対話を生み出すファシリテートの工夫
- ・児童の選択による学習活動と学習過程
- ・学びの自覚を目指した振り返り活動

組織力を生かした学び合う集団づくり

- ・中高学年における教科担任制の実施
- ・チーム担任制による集団づくり

I C T教育の工夫

- ・シームレス教育の推進
- ・学習者用端末の文房具化
- ・個別最適で協働的な学びへの有効活用



笑顔いっぱい友達いっぱい

互い良さを認め合う学校・学級づくり

- ・「認められる場所と環境」の設定
- ・対話を通じた多様な自己決定場面の設定
- ・校内フリースクールの支援体制の整備
- ・挑戦し、失敗が許される学級づくり
- ・多様な考えを大切にする教師集団
- ・「させる」から「支える」への指導の転換
- ・主体的な児童会活動の推進
- ・道徳教育の充実

体験活動を通じた豊かな心の育成

- ・「非認知能力」を育む環境づくり
- ・授業や行事での体験活動の工夫
- ・児童と幼児の交流活動
- ・専門家による感動を味わう指導の充実



のびのび元気な体づくり

体力づくりを目指した体育活動の充実

- ・運動の習慣化を図る授業づくり
- ・学習用端末を活用して、家庭と連携した体力づくりができる学習活動の工夫
- ・安全に運動できる外遊びの工夫

保健・安全教育の徹底

- ・子供目線での安全点検の実施と確実な改善
- ・危険回避能力を高める指導の充実
- ・ヒヤリハットの共有と事例研修
- ・登下校時の安全確保（通学路点検）
- ・交通安全教室、防災訓練の実施
- ・薬物乱用防止、生に関する指導の実施
- ・引き渡し訓練の実施



夢への挑戦

社会の変化に対応できる人材の育成

- ・発信型プロジェクト学習の充実（探究する学び、プレゼンテーション）
- ・対話を通じたルールメイキングの取組
- ・キャリアパスポートの活用
- ・つくばスタイル科の充実
- ・I C T機器を活用した学習の充実

特別支援教育の充実

- ・全職員で取り組む特別支援教育の充実
- ・「発達特性」に関する研修の充実
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・定期的な特別支援教育委員会の実施
- ・ユニバーサルデザインの環境整備
- ・関係機関とのケース会議等の推進



連携・絆づくり

社会に開かれた教育課程の実現

- ・大穂学園コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の一体的な推進
- ・大穂学園（小中一貫教育）での連携
- ・地域各種団体との連携（くすのき隊・区長会など）

信頼される開かれた学校づくり

- ・教職員の指導力の強化
- ・学校コンプライアンス体制の確立
- ・学校事故の未然防止（点検・研修）
- ・教育活動の情報発信（HP 毎日更新）
- ・地域人材、施設を活用した多様な学習活動の実施
- ・PTA、コミュニティ・スクール協議会との連携





輝く個性が響きあい 笑顔あふれる児童の育成

☆ 非認知能力の醸成

- ☐ やりぬく体験の保障
- ☐ 上手な励まし

☆ 教えから学びへ 分かる授業の展開

- ☐ 授業改善（課題へのこだわり・対話へのしかけ・振り返りの工夫）
- ☐ GIGA端末活用のレベルアップ
- ☐ 読書活動の推進（朝読書からの習慣化）
- ☐ 授業見学の機会創出
- ☐ 本物からの学び

☆ 管理から自己決定へ 自律的な学級づくり

- ☐ 挑戦が称賛される学級経営
- ☐ 自分で解決させ、考えさせる授業
- ☐ 多様な考えを大切にする特別活動

☆ 働き方改革の推進

- ☐ 前小DX
 - ・ Outlook（予定管理・タスク管理）の活用
 - ・ Teams活用による授業と業務の展開
- ☐ 時間づくりで自分磨き
 - ・ ベクトルを大きく強くしなやかに
 - ・ 趣味づくり、マイブーム

☆ 服務規律の確保

- ☐ 風通しの良い雰囲気づくり
 - ・ 学校と保護者・地域で、Team前野
 - ・ 教職員が、明るく元気な前野Family
- ☐ 専門職としての法の理解

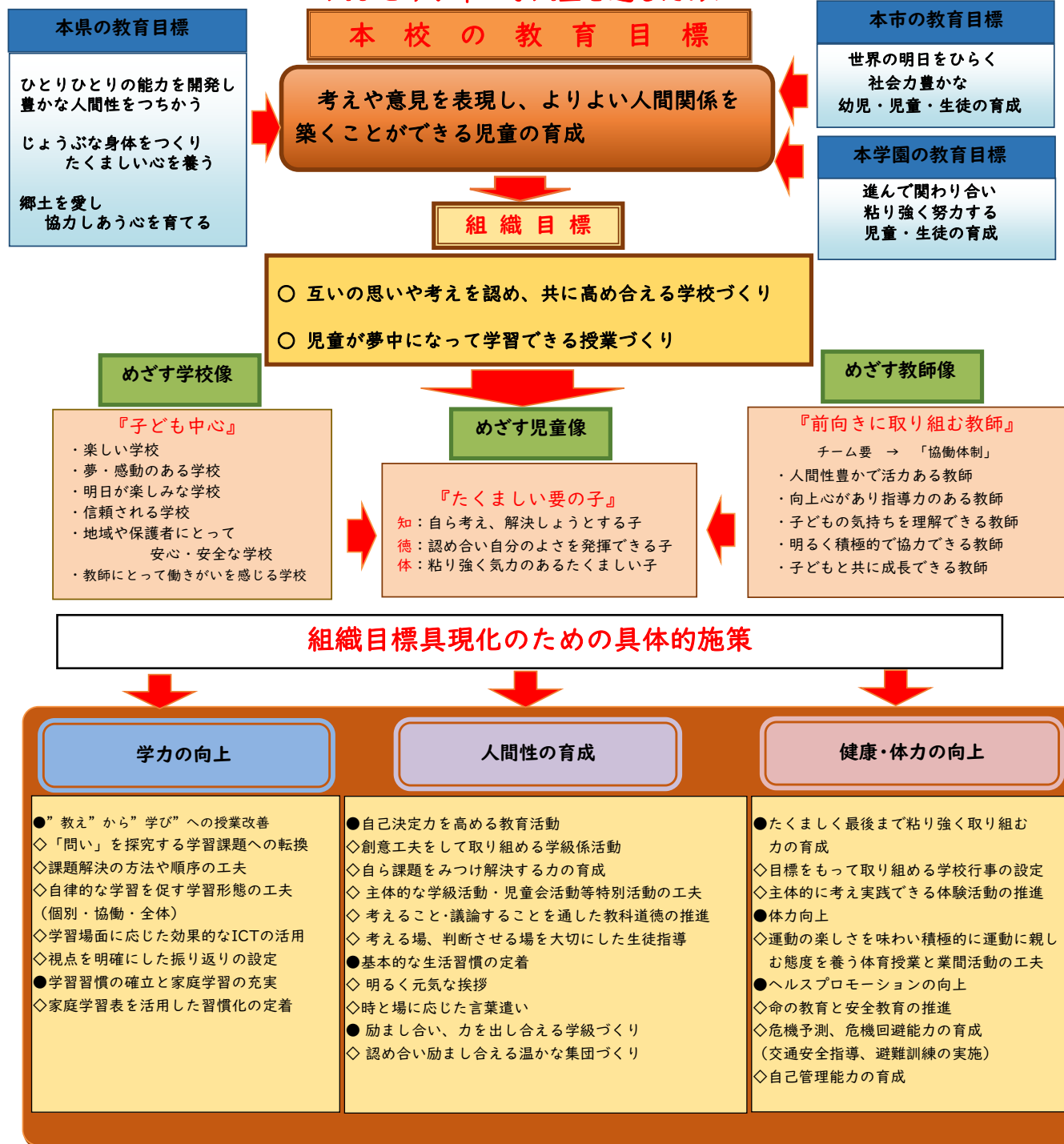
「前野小でよかった！」

通ってよかった！ 通わせてよかった！ 勤務できてよかった！

= 一人ひとりが温かな気持ちで幸せを実感できる毎日に =

令和7年度 大穂学園つくば市立要小学校 グランドデザイン

一人ひとりが幸せな人生を送るために



令和7年度校内研修テーマ

〇話し合いと振り返りを通して、仲間と繋がりを深め、よりよい学校生活づくりを目指す
特別活動の充実

働き方改革の推進…………子どもと向き合う時間確保のために

・教育課程の工夫・改善 ・仕事の計画的推進 ・職場の環境づくり

令和7年度 大穂学園つくば市立吉沼小学校グランドデザイン

学校教育目標 夢や希望をもち、努力・挑戦し続ける児童の育成

目指す学校の姿	目指す児童の姿	ありたい教師の姿
○すべての子どもが生き生きと学ぶことができる学校 ○すべての教職員が熱意と創意をもち、協働できる学校 ○家庭・地域から愛される学校	■進んで学び、自分の思いや考えを豊かに表現できる子 ■思いやりがあり、友達と協力して活動できる子 ■心身共に健康で、たくましい子	○子どもに寄り添い、子どもと共に学び、共に成長できる教師 ○指導力を磨き続けることができる教師 ○豊かな人間性や社会性を備えた信頼される教師

本年度の学校経営の重点【組織目標】
児童の認知能力と非認知能力をバランスよく育む教育活動の推進

《学校経営の基本理念》
すべての子どもが安心して学び、互いを認め、高め合い、成長をみんなで喜び合える学校づくりを推進する。

《学校経営の方針》

- 「認める・まかせる・ほめる・励ます」の基本姿勢で児童一人一人に接し、すべての児童のよさを伸ばし、可能性を引き出す教育活動を実践する。
- 教職員一人一人が持ち味を発揮し協働できる学校組織をつくる。
- 学校の取組や様子を積極的に情報発信し、家庭や地域と連携して児童の育成に取り組む。
- 「ありたい教師の姿」を実現するため、学校の業務改善を推進する。(時間外勤務時間平均45h/月)

《第3期つくば市教育振興基本計画》
■基本理念
夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」の実現

《つくば市教育大綱》
■考え方の転換

- 「教え」から「学び」へ
- 「管理」から「自己決定」へ
- 「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

《大穂学園の教育目標》
進んで関わり合い 粘り強く努力する児童・生徒の育成

知のプロジェクト



徳のプロジェクト



体のプロジェクト



連携プロジェクト



進んで学び、自分の思いや考えを豊かに表現できる子

- 1 児童が楽しみに待つ授業づくり
【校内研究テーマ】
- 2 基礎・基本の定着を図るための「チャレンジタイム」の設定
- 3 一人一台端末を活用した補充的な学習、発展的な学習の充実
- 4 読書活動の推進
- 5 家庭と連携を図った学習習慣の確立

思いやりがあり、友達と協力して活動できる子

- 1 相手の心に響き、行動を促すやさしい言葉づかいの励行
- 2 自己の生き方についての考えを深める道徳教育の充実
- 3 学級や学校の課題を見だし、話し合い、合意形成を図って取り組む活動の充実
- 4 児童会活動・特別活動の活性化
- 5 いじめや差別を生まない人権教育の推進

心身共に健康で、たくましい子

- 1 家庭と連携した規則正しい生活リズムの定着(早寝・早起き・朝ごはん)
- 2 担任と養護教諭が連携した保健学習、保健指導の充実(危険回避、けがや病気の予防、生活習慣病の予防、ストレス対応など)
- 3 体力・運動能力調査結果に基づいた体育授業の工夫
- 4 ロング昼休みにおける外遊びの推奨
- 5 SCの効果的な活用

家庭・地域等との連携

- 1 コミュニティ・スクールを基盤とする家庭や地域と連携した教育活動の推進
- 2 学校HPや学校だより等による積極的な情報発信
- 3 大穂学園内小中学校における交流の活性化(児童生徒同士、教員同士)
- 4 地域人材や専門家と連携した指導の推進(ICTを活用した遠隔教育も含む)
- 5 保幼小の連携強化

自己決定を促すコーチングによる指導の充実(相手の話を聴くスキル・質問するスキル・承認するスキルの向上)

学ぶことと将来のつながりを意識できるキャリア教育の充実(特別活動、体験的な活動、探究的な活動、キャリアパスポートの活用)

特別支援教育の充実(合理的配慮に基づくパーソナル・サポート)

【数値目標】

- ・授業を楽しみにしている児童の割合 80%
- ・進んで家庭学習を行っている児童の割合 90%

【数値目標】

- ・まわりの人のことを考えて生活している児童の割合 80%
- ・いじめを絶対にしないように気を付けている児童の割合 100%

【数値目標】

- ・いつも「早寝・早起き・朝ごはん」ができている児童の割合 85%
- ・危ないことをしないように気を付けている児童の割合 90%

【数値目標】

- ・学校は、教育目標、教育方針を保護者に説明し、その実現に向けて努力していると回答する保護者の割合 90%